

< 農地・水・環境保全向上対策と連携して効果的な取組を実施している事例 >

「豊饒ふるさとリバイピア」構想の実現を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	富山県 <small>ひみし</small> 氷見市 <small>いかに</small> 五十谷			
協定面積 5.0ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 105万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農業生産活動費		7%
		水路・農道等維持管理費		43%
		多面的機能増進活動費		0%
協定参加者	農業者5人			

2. 取組に至る経緯

当地区は、昭和52年3月に大規模地すべり災害（被災農地面積約14ha、被災建物23棟）に遭遇し、住宅並びに農地を失い、市街地周辺に住居を求めて離村した。しかしながら、ふるさとへの郷土愛、特に農地への愛着が捨てきれず、「この地で永住は出来なくても、営農を続けたい」との熱い想いで農地を復旧し、現在まで「通勤農業」に精を出している。

このように頑張っはいたものの、中山間地という条件不利地に加え、担い手の高齢化や米価下落などによる農業情勢の悪化により、厳しい経営状況となっていた。

そこで、平成12年度からの中山間地域等直接支払制度に関係者一丸で取り組むことにより、農地、農業及び自然環境を維持していくこととした。

3. 取組の内容

直接支払制度により、農地の保全部管理は個人で、土地改良施設の点検・管理・補修は共同で取組んできた結果、耕作放棄地を出さず優良農地を守ることが出来た。

また、19年度から新たに地域の農地・農業用水などの資源や環境の保全を図るため、「農地・水・環境保全向上対策」に取り組み、共同取組活動がより一層円滑に行われている。

農地の保全や営農活動の基礎部分については「直接支払制度」及び「農地・水・環境」の両事業で行い、さらに環境負荷低減等の営農活動の付加価値部分を「農地・水・環境」で行うことにより両者の連携を図り、地域の特色ある農業生産を行っている。



農道の簡易コンクリート舗装

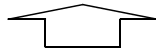


環境負荷低減型農業（堆肥散布）

[集落の将来像]

地滑りから復興し、通勤農業で農地を守ってきました。これまでの成果として、エコファーマーの認定や減農薬減肥料の特別栽培米の栽培、さらには、棚田はさがけ米にも取り組んでいます。

今後は、こういった高付加価値型営農をますます推進し、再生されたふるさと「五十谷」をさらに活性化させるため、豊かで実りある「豊饒ふるさとリバイピア」構想の実現を目指していきます。



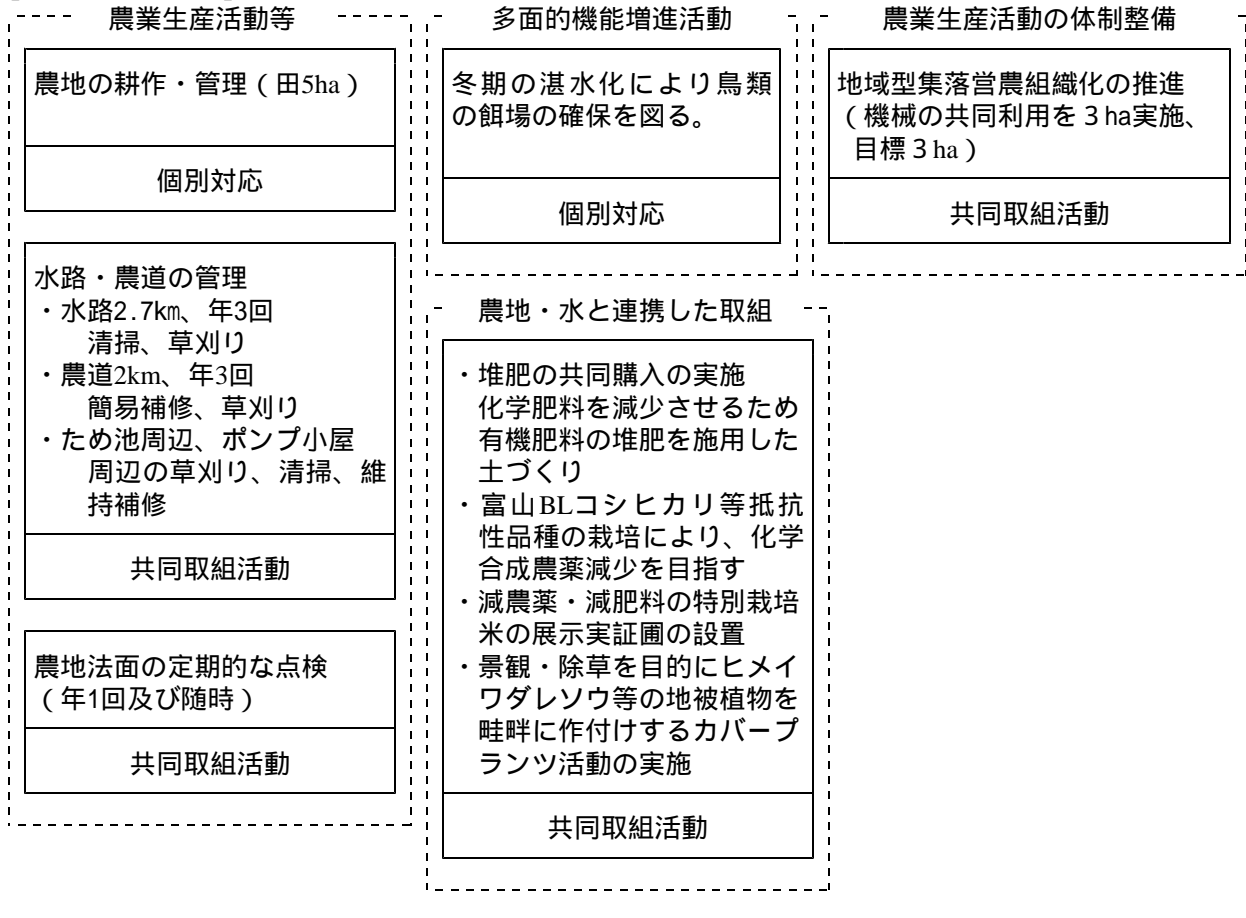
[将来像を実現するための活動目標]

水路・ポンプ施設・農道・ため池周辺の草刈り、清掃、維持補修 ため池の維持管理

野鳥生息用冬期湛水による多面的機能の増進

集落営農の推進 高付加価値型農業の推進

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

現制度の取り組みは、農業基盤の維持発展および従事者の生産意欲の高まり、耕作放棄地の防止や農地復元に多大の効果をもたらしている。今後も本制度を継続し、中山間地域における農業を守って、国土保全、食料自給率の向上に寄与していきたい。

[平成20年度までの主な成果]

高付加価値農業の推進

・特別栽培米の作付けを推進（当初0ha、目標4.1ha、H20実績4.1ha）

水路・農道の管理（目標：水路2.7km、農道2km H20実績：水路2.7km、農道2km）

農地法面及び土地改良施設の定期的な点検（随時）